

V.G 槻 輪 だ よ り

会 報 第 1 2 4 号
発行日 平成27年2月1日
発行・編集 V・G 槻 輪
代表者 大岡成一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

“垣内式集落”のまち “高槻市浦堂本町”

わがまち紹介

平成27年1月21日（水）
JR高槻駅 北側バス乗り場集合
浦堂バス停下車→服部図書館→浦堂本町散策→安岡寺→解散

1、服部図書館では、岩村館長から全般的な説明をして頂き、館内の説明には植木さんも加わり説明をして頂きました。

2、安岡寺では、住職さんより寺の創建の話から歴史の時代順にわかり易く説明をして頂きました。本堂に有難う御座いました。

浦堂の名が付く町は、浦堂1～3丁目、浦堂本町が有ります。一帯は、旧服部村に属し、浦堂の名は、村内の垣内（かいと）小集落の名から取ったと言われています。

奈良県に分布する濠をめぐらした環濠集落を特に「垣内式集落」と日本の地質・地理学者の小川琢治が命名した。本来、垣内は農場として囲い込んだ場所や屋敷を意味し、

時代に盛んに設定された。浦堂本町は、高槻の「垣内式集落」と言えるのではないだろうか。

服部図書館

天神山図書館は建物の老朽化などにより、2013年3月をもって閉館となった。一方、服部（はつとり）図書館は、2013年6月開館しました。服部図書館の周辺には、神服（しんぷく）神社や安岡寺など、千年以上の歴史をもつ社寺や旧跡がたくさんあります。5世紀の昔、機織り集団である「服部（はつとり）」が本拠を置いたという伝承にちなむ「服部（はつとり）」の里。地域の皆さんに愛される図書館に育ってほしいという思いをこめ、由緒ある地名をとって「服部図書館」と名づけられた。

服部図書館の1階は子どものフロアです。フロアリングの床に高さをおさえて書架を配置し、絵本や児童書約2万3千冊を並べています。その一画「お

奈良はなしのへや」では床暖がしてあり、職員やボランティアによる「おはなし会」などを催されています。また「児童書コーナー」には隣接して「子育て図書コーナー」を設けられ、子どもさんが絵本を読んでいるそばで、保護者の方が子育てのハウツーを学べるような工夫もしています。さらに読書離れが指摘される中・高校生らにも、本に慣れ親しんでもらえるよう、市内の図書館では初めて、主に中・高生向けの本や雑誌をそろえた「ティーンズコーナー」を設けてあります。

2階は一般の方向けのフロアです。カーペット敷きにワインレッド色でまとめた書架やカウントー式の読書席は、落ち着いた雰囲気を感じ出し、ゆったりと快適に読書ができる環境になっています。小説や実用書など約7万2千冊にの約千点、新聞や雑誌は約130タイトルが揃っています。また、今までソフト（OS）や言語・ハード・インターネットなどの分類に分けて置かれていたコンピュータに関連する本を「ITコーナー」としてまとめ、利用者が探しやすいうようにしています。

安岡寺



安岡寺は、服部図書館から浦堂本町を散策して約2kmほど東へ進むと山門に到着します。山門（総門）をくぐると「本堂前の広場」まで約百メートルほどあるなだらかで長い石畳の階段、舗装された参道という感じで登ると本堂が見えます。本堂の中でお参りさせて頂き、住職より寺の創建時の話から時代順に説明して頂きました。本尊の「如意輪観世音菩薩」をはじめ仏像の一体ずつ、古書に記載されているなどわかり易く説明して頂きました。

2015年2月度行事予定 “嶋上郡衙のまちとして栄えた郡家の村” 郡家本町

月 日：2015年2月19日（木曜日）
集合場所：JR高槻駅 北側バス乗り場 ⑤10:10 集合（10:15 発開大行き乗車）
順 路：JR高槻駅北バス停→郡家本郷バス停下車→久安寺→妙圓寺→郡家本町まち並み→今城塚古代歴史館
その 他：1）順路は、天候などで変更することがあります。
2）解散後自由参加で昼食会を予定しています。

2015年3月度行事予定 “古くは都の皇族や公家の別荘が点在していたまち”京都市右京区

月 日：2015年3月18日（水曜日）
集合場所：阪急松尾大社駅 改札出口 13:30
順 路：阪急松尾大社駅→梅宮大社→阪急松尾大社駅
その 他：1）順路は、天候などで変更することがあります。
2）前日の午後6時のNHKの天気予報で、当日の午後の天候で降水率60%以上の場合は中止します。